

島根原子力発電所1号機 非常用ディーゼル発電機 (A) 過給機の点検結果について

東京電力ホールディングス株式会社柏崎刈羽原子力発電所1号機で発生した非常用ディーゼル発電機（以下「D/G」という。）(B) 過給機軸固着事象に関連し、島根原子力発電所1号機 D/G (A) 過給機の点検を実施したことから、その結果について報告する。

1. 点検内容

島根原子力発電所1号機D/G (A) 過給機はタービンブレードの取り外し・再取り付け実績がない過給機である。本D/Gの過給機は左右（R側、L側）に各1基設置されており、タービンブレードを49枚有している。

ロータシャフトの中心からレーシングワイヤの孔上端位置までの寸法を計測し、隣り合うブレードとの孔位置ずれの寸法を算出（図1）する。事象発生プラントの知見を参考に継続使用可能可否判断フロー（図2）に従い点検する。

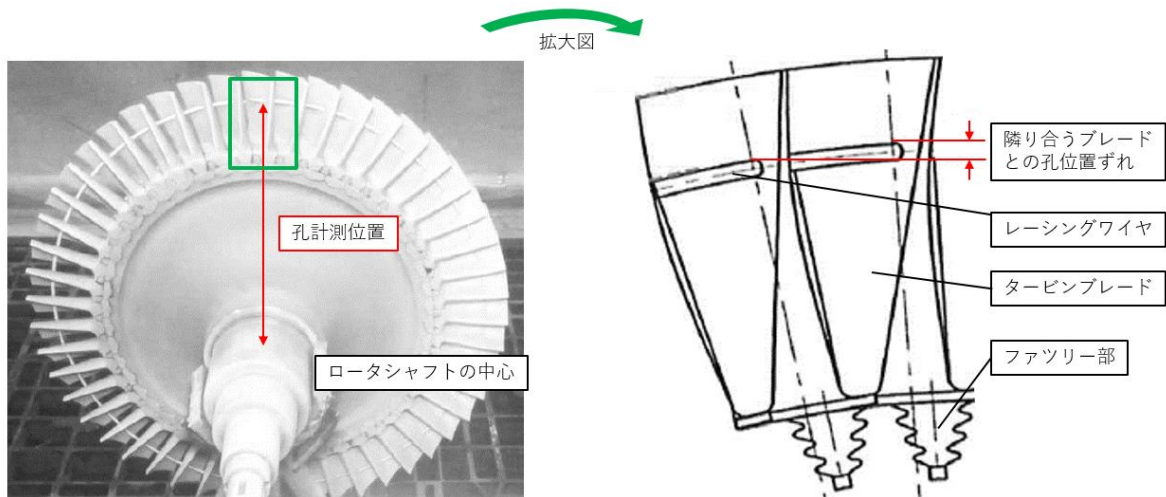


図1 レーシングワイヤ孔計測位置概要図

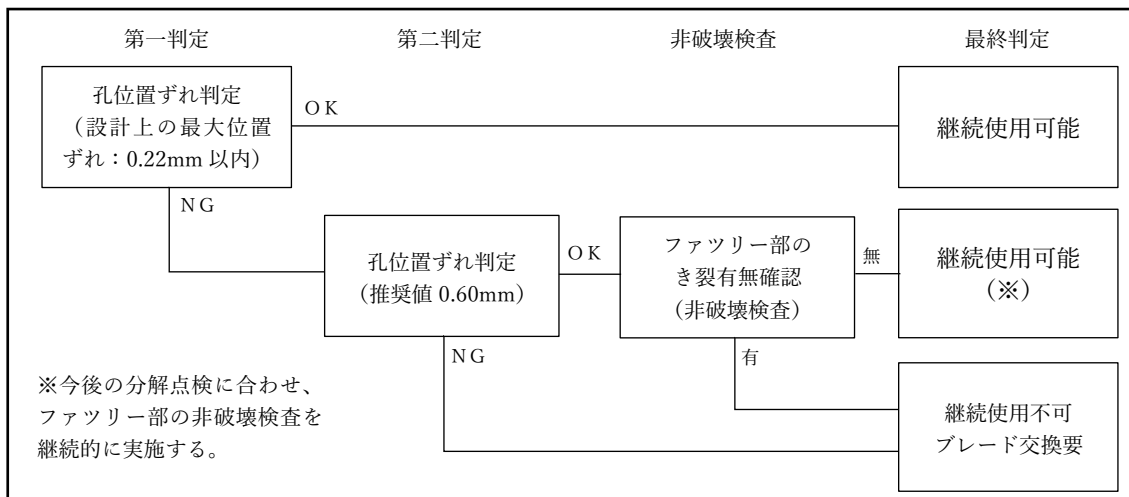
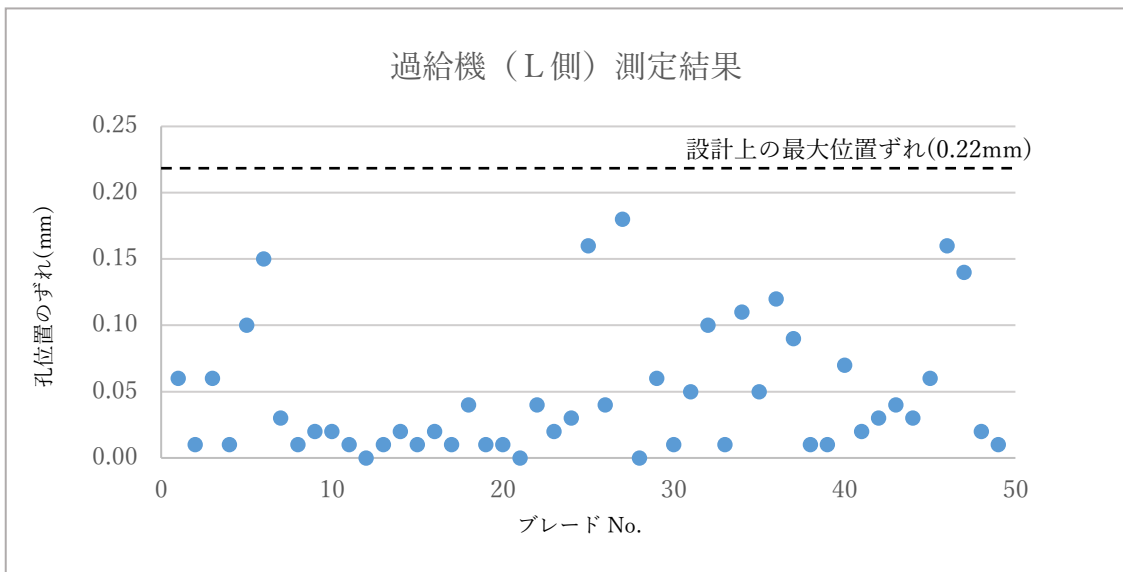
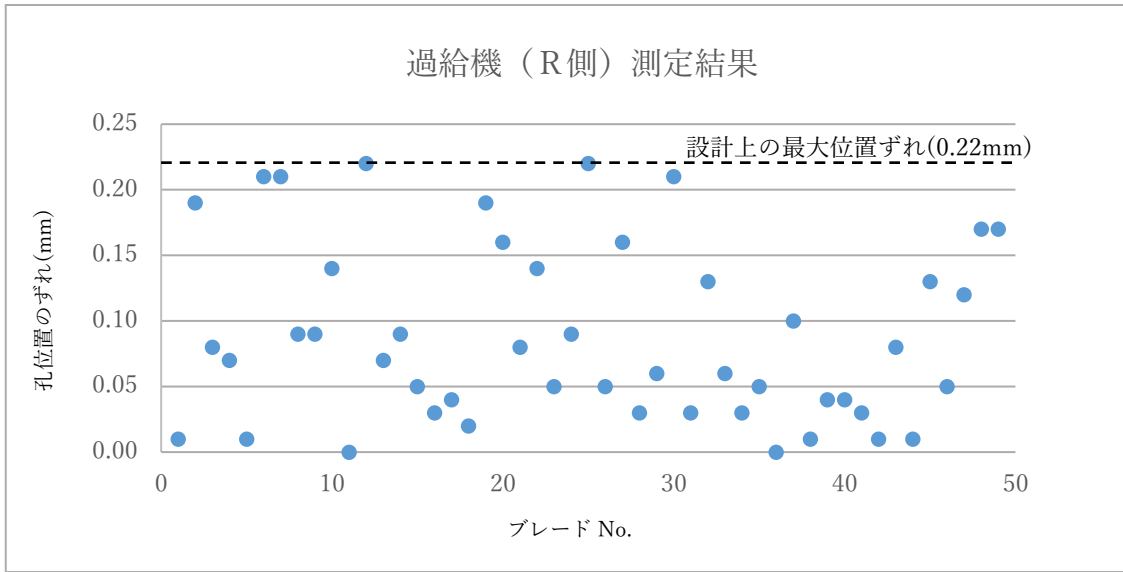


図2 継続使用可否判定フロー

2. 点検結果

隣り合うタービンブレードとの孔位置ずれは最大 0.22mm であり、すべて設計上の最大位置のずれ (0.22mm) 以内であったことから、継続使用可能と判断する。



以上